

氏名	泉 正 樹
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 1550 号
学位授与の日付	昭和60年3月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	Isolation, characterization and clinical evaluation of the γ -glutamyltransferase associated with hepatocellular carcinoma 肝癌関連 γ -グルタミルトランスフェラーゼに関する基礎的並びに臨床的研究
論文審査委員	教授 木村郁郎 教授 産賀敏彦 教授 大田善介

学位論文内容の要旨

24例の肝細胞癌，30例の肝細胞癌以外の肝疾患例および5例の健常人血清につき， γ -グルタミルトランスフェラーゼ(GGT)アイソザイムを分離し，以下の結果を得た。

超遠心法による血清（血漿）リポ蛋白の分離では，GGTⅢからⅩはリポ蛋白分画に回収されたが，肝癌関連GGTⅠ'，Ⅰ"およびⅡ'は，ⅠおよびⅩと共に非リポ蛋白分画(residue)に検出された。リポ蛋白に共存するGGTを前もってアフィニティ・ゲルブランククロマトグラフィーにより取除き，その非吸着分画中のGGTⅠ'Ⅰ"，Ⅱ'，ⅠおよびⅩを，コンカナバリンA-セファロスクロマトグラフィー（二重親和クロマトグラフィー(DAC)）によって分離した。DACによる分離では，非結合分画(U)にGGTⅠ'およびⅡ'，結合分画(B)にGGTⅠ，Ⅰ"，Ⅱ'およびⅩが検出された。非結合分画中GGTの両分画中GGTの和に対する活性比(U/(U+B))が22%以上を示したものは，肝細胞癌例の54%に認められ，肝細胞癌以外の肝疾患例には認められなかった。従って，DACにおけるU/(U+B)比は肝細胞癌のスクリーニングに有用な指標と考えられた。

論文審査の結果の要旨

本研究は肝癌関連 γ -グルタミルトランスフェラーゼ(GGT)について基礎的並びに臨床的に研究したものであるが，GGTアイソザイムを分離し，リポ蛋白に共存するも

のを除いてその非吸着分画中について活性比を求めたところ、肝細胞癌のスクリーニングに有用な指標を得、重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。